

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月23日

上場取引所 東

上場会社名 ハチバン

コード番号 9950

URL <http://www.hachiban.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 後藤 克治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長

(氏名) 酒井 守一

四半期報告書提出予定日 平成27年10月27日

TEL 076-292-9950

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

配当支払開始予定日

平成27年12月1日

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年3月21日～平成27年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,963	11.1	3,659	11.5	389	64.8	497	42.4	299	50.8
27年3月期第2四半期	3,567	4.2	3,282	4.5	236	△5.0	349	△1.8	198	△1.2

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 428百万円 (32.1%) 27年3月期第2四半期 324百万円 (56.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	19.19	—
27年3月期第2四半期	12.38	—

(注)営業収益は売上高と営業収入の合計であります。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	円 銭
28年3月期第2四半期	6,001		4,179		69.0		268.20	
27年3月期	5,692		3,783		65.9		242.75	

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 4,143百万円 27年3月期 3,751百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
28年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年3月21日～平成28年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	7,520	7.4	6,938	7.7	500	80.2	618	49.4	358	72.8	22.97	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)営業収益は売上高と営業収入の合計であります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	16,040,558 株	27年3月期	16,040,558 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	456,710 株	27年3月期	455,490 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	15,584,550 株	27年3月期2Q	16,016,164 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績見通しは、現時点で入手可能な情報の基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上期予想数字と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策の推進により、国内景気は回復基調を持って推移しておりますが、消費税率引き上げ後の個人消費動向に弱さがみられ、依然として先行きに不透明感が残る状況となっております。

外食産業におきましても、消費者の節約志向は依然として強く、また、円安による原材料価格の上昇や、人手不足を背景とした人件費関連コストの負担増、異業種との競争が続くなど、引き続き厳しい状況が続いております。

一方、当社グループの国内における事業基盤がある北陸地方では、北陸新幹線開業による経済効果は高く、主要駅周辺を中心として活況を呈しております。

このような状況のもと当社グループは、「食の安全・安心」の向上はもとより、より高品質・より健康志向の商品の提供、接客サービスの向上に努め、お客様の信頼を最優先に、事業活動を展開してまいりました。

当社グループの店舗展開の状況につきましては、加盟店3店舗（福井県1店舗、タイ国2店舗）を新規出店しましたが、直営店1店舗（岐阜県）、加盟店2店舗（タイ国）の閉店があり、店舗数は261店舗（前連結会計年度末比同数）となっております。その内訳は、国内店舗ではらーめん店舗132店舗、和食店舗12店舗（合計144店舗）、海外店舗は117店舗であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前連結会計年度に開店した店舗業績が寄与したことなどにより36億59百万円（前年同期比11.5%増）、営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は、39億63百万円（前年同期比11.1%増）となりました。営業利益は3億89百万円（前年同期比64.8%増）、経常利益は4億97百万円（前年同期比42.4%増）、四半期純利益は2億99百万円（前年同期比50.8%増）と大幅な増収増益となりました。

セグメント別の状況につきましては次のとおりであります。

①外食事業

（らーめん部門）

8番らーめんフランチャイズチェーンの国内展開を主とするらーめん部門では、店舗の改装・移転による店舗イメージの刷新、より高品質・より健康志向の商品の提供、接客サービスの維持向上に取り組み、来店客数の増加に努めております。

前連結会計年度に引き続き、主力商品である「野菜らーめん」の品質向上に重点を置き、調理技術の向上のための店舗巡回指導に注力するとともに、調理資格であるフライパンマイスター、接客サービス資格であるサービスマイスターや接客リーダー等の社内資格の取得を推奨し、そのための講習会もチェーン全体で展開しました。

8番らーめんフランチャイズチェーン既存店売上高は、これらの諸施策や北陸新幹線開業に合わせた積極的なPRプロモーションを行ったことなどにより、前年同期比4.2%増となりました。

店舗展開の状況につきましては、福井県で加盟店を1店舗新規出店しましたが、賃貸借契約の終了により直営店（岐阜県）を1店舗閉店したことにより、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は132店舗（うち加盟店115店舗、直営店17店舗、前連結会計年度末比同数）となりました。

（和食部門）

和食料理店を直営店方式により展開する和食部門においては、個店ごとの店舗特徴や立地特性をよりアピールするほか、季節の変化に応じた健康志向メニューの提供に取り組み、来店客数の増加に努めております。

「地酒と手造り料理 八兆屋」では、季節毎の食材を使った健康志向メニュー「季節のそば膳」を継続して販売しており、ランチタイムの主力メニューとなっております。

既存店売上高は、これらの営業諸施策や、北陸新幹線開業による観光客や地元顧客の増加などにより、前年同期比14.2%増となりました。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数は12店舗（前連結会計年度末比同数）であります。

以上の結果、外食事業の当第2四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は33億2百万円（前年同期比12.3%増）、経常利益は5億43百万円（前年同期比29.2%増）となりました。

②外販事業

当社製品を主要販売品目とする外販事業は、より付加価値のある商品の開発と提案に努め、生麺ブランド「八番麺工房」や冷凍生餃子を、地元スーパーマーケット様を始めとして、国内各地の生活協同組合様、量販店様を中心に販売の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、より厳しさを増す生麺市場の販売競争の中で、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億75百万円（前年同期比1.6%減）、経常利益は23百万円（前年同期比110.4%増）となりました。

③海外事業

8番らーめんフランチャイズチェーンの海外展開ならびに主としてラーメンスープ・エキス等の食材の輸入と販売を行う海外事業においては、既存出店地域での新規出店、スクラップアンドビルドに取り組むほか、高品質なラーメンスープ・エキスの開発と生産体制の充実増強に努めております。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、タイ国で2店舗の出店と2店舗の閉店があり117店舗（うちタイ国110店舗、香港7店舗、前連結会計年度末比同数）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は、タイ国での店舗売上好調に加え、スープ・エキス売上の増加により、2億85百万円（前年同期比17.1%増）、経常利益は1億6百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億8百万円増加して60億1百万円（前連結会計年度比5.4%増）となりました。これは主に現金及び預金が1億22百万円増加したことや、売掛金が1億45百万円増加したこと、投資有価証券が67百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ87百万円減少して18億21百万円（前連結会計年度比4.6%減）となりました。これは主に未払法人税等が1億円増加したものの、流動負債のその他が2億9百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億96百万円増加して41億79百万円（前連結会計年度比10.5%増）となりました。これは主に、利益剰余金が2億68百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が1億26百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年9月16日に公表した前回予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	273,610	396,572
売掛金	420,929	566,193
商品及び製品	89,710	86,147
原材料及び貯蔵品	24,474	25,392
繰延税金資産	59,351	64,377
その他	178,214	146,864
流動資産合計	1,046,290	1,285,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	865,426	835,622
機械装置及び運搬具（純額）	344,275	329,743
工具、器具及び備品（純額）	192,912	191,259
土地	1,073,094	1,073,094
有形固定資産合計	2,475,708	2,429,720
無形固定資産	42,808	37,579
投資その他の資産		
投資有価証券	1,450,983	1,518,682
長期貸付金	57,570	120,734
関係会社出資金	64,001	64,001
差入保証金	323,529	320,761
保険積立金	223,079	217,370
その他	29,243	29,488
貸倒引当金	△20,465	△22,798
投資その他の資産合計	2,127,942	2,248,239
固定資産合計	4,646,460	4,715,539
資産合計	5,692,750	6,001,087

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	291,403	315,638
短期借入金	171,702	199,996
未払法人税等	66,618	167,187
賞与引当金	88,521	90,015
未払費用	331,263	277,234
その他	310,351	101,140
流動負債合計	1,259,860	1,151,212
固定負債		
長期借入金	177,343	142,345
長期末払金	213,751	213,751
繰延税金負債	85,144	142,614
長期預り保証金	173,271	171,491
固定負債合計	649,509	670,202
負債合計	1,909,369	1,821,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,518,454	1,518,454
資本剰余金	1,411,848	1,411,848
利益剰余金	802,218	1,070,264
自己株式	△237,687	△238,420
株主資本合計	3,494,834	3,762,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250,090	376,382
為替換算調整勘定	6,206	5,043
その他の包括利益累計額合計	256,297	381,426
少数株主持分	32,249	36,099
純資産合計	3,783,381	4,179,673
負債純資産合計	5,692,750	6,001,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)
売上高	3,282,870	3,659,796
売上原価	1,678,472	1,830,510
売上総利益	1,604,397	1,829,286
営業収入	284,344	303,969
営業総利益	1,888,742	2,133,255
販売費及び一般管理費		
運賃	139,831	141,119
役員報酬	51,439	50,974
給料及び手当	618,206	660,033
賞与引当金繰入額	82,457	76,590
退職給付費用	9,093	8,865
地代家賃	120,284	140,109
水道光熱費	90,165	89,928
減価償却費	37,963	50,474
その他	502,778	525,268
販売費及び一般管理費合計	1,652,220	1,743,364
営業利益	236,522	389,891
営業外収益		
受取利息	4,533	3,389
受取配当金	87,981	103,443
受取地代家賃	25,696	21,580
持分法による投資利益	—	1,451
その他	22,002	7,420
営業外収益合計	140,214	137,285
営業外費用		
支払利息	1,274	1,485
貸貸費用	24,671	21,153
為替差損	—	6,022
持分法による投資損失	747	—
その他	877	1,131
営業外費用合計	27,571	29,792
経常利益	349,165	497,384
特別損失		
固定資産除却損	121	103
特別損失合計	121	103
税金等調整前四半期純利益	349,044	497,281
法人税、住民税及び事業税	143,000	182,000
法人税等調整額	4,096	11,761
法人税等合計	147,096	193,761
少数株主損益調整前四半期純利益	201,947	303,519
少数株主利益	3,554	4,303
四半期純利益	198,392	299,216

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年3月21日 至 平成26年9月20日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年3月21日 至 平成27年9月20日）
少数株主損益調整前四半期純利益	201,947	303,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124,326	126,291
為替換算調整勘定	△1,100	△889
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,147	△726
その他の包括利益合計	122,078	124,675
四半期包括利益	324,025	428,195
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,032	424,345
少数株主に係る四半期包括利益	2,993	3,849

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成26年3月21日 至 平成26年9月20日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注) 1						
外部顧客への営業収益	2,942,176	381,057	243,981	3,567,214	—	3,567,214
セグメント間の内部営業収益又は振替高	232,821	5,383	31,310	269,515	△269,515	—
計	3,174,997	386,440	275,291	3,836,729	△269,515	3,567,214
セグメント利益	420,357	10,983	88,780	520,120	△170,954	349,165

(注) 1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額△170,954千円には、各セグメント間取引消去905千円、各セグメントに配分していない全社費用△171,860千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成27年3月21日 至 平成27年9月20日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注) 1						
外部顧客への営業収益	3,302,856	375,121	285,788	3,963,766	—	3,963,766
セグメント間の内部営業収益又は振替高	232,474	4,822	33,868	271,165	△271,165	—
計	3,535,331	379,943	319,657	4,234,931	△271,165	3,963,766
セグメント利益	543,124	23,111	106,999	673,236	△175,851	497,384

(注) 1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額△175,851千円には、各セグメント間取引消去902千円、各セグメントに配分していない全社費用△176,754千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。